

平成30年度事業計画書

1 事業概要

福井県より福井県立すこやかシルバー病院の指定管理者として指定を受け、認知症疾患の専門病院として、より高度で先進的な医療の提供と、県民福祉の向上に努めるとともに、併せて認知症に関する介護教育業務を充実し、円滑な当院の管理運営をもって、本県における認知症医療の向上に貢献する。

入院部門では、認知症疾患によるBPSD等を薬物療法・非薬物療法による治療を行い、医師による専門的治療や看護師・作業療法士等によるケアを行うとともに退院後に適切な診療を行うため、地域の「かかりつけ医」との連携に努める。

外来部門では「認知症」といわれる病状に対し、鑑別診断、BPSDに対する治療を行い、医療に関しては紹介機関へのフィードバックを行い、介護保険サービス等の福祉サービス利用者については、福祉機関と情報交換するなど医療・保健・福祉サービスとの連携を積極的に行う。

デイケア部門では、個別性を重んじた多様なかかわりを行い、活動を通して社会活動の場を提供し、認知症の悪化防止とBPSD等の出現を防ぐことを目的とする。

2 事業期間

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

3 事業内容

(1) 福井県立すこやかシルバー病院における診療に関する業務

ア	入院診療	治療病棟	100床	
		年間延べ患者数	32,850人	90.0人/日
イ	外来診療	精神科、神経内科、内科、外科		
		年間延べ患者数	6,442人	26.4人/日
ウ	デイケア	年間延べ患者数	4,758人	19.5人/日

エ 認知症高齢者の処遇判定

(2) 福井県立すこやかシルバー病院の維持管理に関する業務

施設および設備、備品の機能と環境を良好に維持するため、日常点検、保守および法定の環境測定等の保守管理業務を実施する。

(3) 事業の企画および実施に関する業務

ア 介護教育研修事業

県内の認知症高齢者に関する中核機関として、認知症に関する介護教育研修を行い、地域の医療、保健、福祉の水準の向上を図る。

(ア) 認知症高齢者の介護に関する教育および研修の実施

a 一般研修

認知症に関する知識の普及・啓発を進めるため、一般県民を対象にテーマを分類（研修1～11）して研修を実施する。

b 専門職研修（医療機関・施設職員等コース）

認知症高齢者と関わるケア専門職として、必要な専門的知識、ケア技術の普及・啓発を進めるため、医療機関・福祉施設等の職員を対象にテーマを分類（研修1～39）して研修を実施する。

c 児童・生徒啓発研修

認知症高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らすことが出来るよう、地域で支える仕組みづくりの一つとして、子供の頃からの認知症の正しい知識の普及・啓発を進めるための研修を実施する。

d 警察・消防署員研修

福井県内の警察署員、消防署員に対し、認知症の基礎知識、徘徊の方への対応、万引き、車の運転、介護者に対する相談窓口や病院案内等、認知症に関する知識について看護師が指導を行う。

e 民生委員研修

福井県内の民生委員に対し、認知症の基礎知識、認知症の方への対応、介護者に対する相談窓口や病院案内等、認知症に関する知識について看護師が指導を行う。

㊦ f 働く世代への認知症啓発

福井県内の企業に勤務する方に対し、認知症の基礎知識、若年認知症について、認知症の症状への気づき、身内が認知症になった場合の相談窓口や対応方法等、認知症に関する知識について看護師が指導を行う。

g 学生研修

医療福祉系教育機関等の学生を対象に教育カリキュラムの一部として、認知症高齢者の臨床において生活援助の在り方について研修を実施する。

h 臨地実習・病院見学受け入れ

認知症ケアの質の向上等に向けて、他機関が実施する事業の実習協力施設として、実習の受け入れを実施する。

i 介護家族研修

(a) 家族会

認知症介護を行っている家族、認知症介護に携わっている専門職や認知症に関心のある一般県民が認知症に関する知識を深め、その中で介護に役立てられる知識を得る。また認知症高齢者の生活の質を考え、介護家族が抱えている思いを共感・共有しながら介護負担の軽減を図るため家族会を実施する。

(b) 入院患者家族研修

① 外出・外泊時研修

入院患者が外泊・外出する際、家族が個々に応じたケアの留意点を知り入院患者に適切なケアを行うことにより、介護負担の軽減を図ることができるよう研修を実施する。

② リーフレット研修

患者家族が認知症に対する正しい知識と理解を得るために、リーフレットを用いた研修を実施する。

(c) 外来患者家族研修

① 外来初診時研修

在宅での家族介護者に対し、地域での介護・相談窓口・介護保険制度・地域のかかりつけ医の役割等について助言し、家族の介護力の向上を図ることを目的として、外来初診時に精神保健福祉士が資料等を用いて研修を実施する。

(d) デイケア患者家族研修

デイケア患者家族が認知症に対する正しい知識を深められるようリーフレットを使用した研修を実施する。

(イ) 認知症および予防に関する知識の普及・啓発

a 講演会

広く県民を対象に、認知症に関する知識の普及・啓発を行うため、講演会を実施する。

b 講師派遣

認知症に関する知識の普及・啓発を図るため、他機関が実施する認知症関連事業等の講師派遣依頼に応じ、派遣先にて研修を実施する。

(ウ) 認知症に関する相談および指導の実施

a 介護相談

主介護者の悩みや介護負担感の精神状態を探り介護負担の軽減を図るため、認知症をはじめ、介護・医療・福祉に関する相談に対し、看護師が助言・指導を実施する。

b 受診相談

認知症の診断・治療等に関し適切な医療が受けられることを目的とするため、電話・面談にて介護者や本人に対して、生活や傷病の状況に適切に対応した医療機関への受診方法や情報提供等の助言・指導を精神保健福祉士が実施する。

c 電話による介護相談

認知症の人を介護する家族やケア専門職に対し、電話を通じて認知症に関する医療・福祉等についての教育・啓蒙・社会福祉的援助を実施する。

イ 「認知症カフェ」(心愛) 実施事業

(ア) 目的

認知症に不安を感じる方、軽度認知障害の方、軽度認知症の方やその家族、地域住民を対象に、他者との交流の場となったり、病気や介護の悩みを打ち明けたり、楽しい雰囲気の中での創作活動などといった諸活動を行う「認知症カフェ」事業を実施する。

(イ) 対象者

- a 認知症に不安を感じている方やその家族
- b 軽度認知障害と診断された方やその家族
- c 地域住民(関心のある方)や介護専門職員、など。

(ウ) 実施場所

福井市湊3丁目1010 ループヤシロビル1階

(エ) 実施内容

茶菓の提供、歓談、趣味活動（囲碁、将棋、編み物等）、散歩、体操、脳トレ、介護の悩み相談等

(オ) 実施日時

毎週土曜日 10時から15時

ウ 「認知症医学推進講座」の設置

(ア) 寄附講座の名称

認知症医学推進講座（福井大学医学部に設置）

(イ) 寄附講座の設置目的

福井大学医学部の内科学2（神経内科）分野及び精神医学分野との緊密な連携のもと、認知症全般を包括する臨床研究、基礎研究を実施し、早期診断、治療、維持向上に係る研究成果を地域医療、介護教育の現場に還元し、研究を通じて地域の医療関係者の人材育成を図ることを目的とする。

(ウ) 寄附講座の研究内容

- ・せん妄の病態メカニズム解明と治療戦略の構築
- ・認知症発症の予測指標となる認知機能低下及び生活習慣の変化の検討
- ・福井県を中心に行っている認知症の早期診断、早期治療のためのアンケート用紙を用いた検診の各種解析
- ・福井大学物忘れ外来患者、県立すこやかシルバー病院患者の認知症コホート研究
- ・アルツハイマー病タウ蛋白を発現する細胞モデルを用いた研究
- ・アルツハイマー病の早期のバイオマーカー研究

(エ) 寄附の時期及び期間

時 期：平成29年度～平成30年度

期 間：平成29年4月1日～平成31年3月31日